

環境保全活動

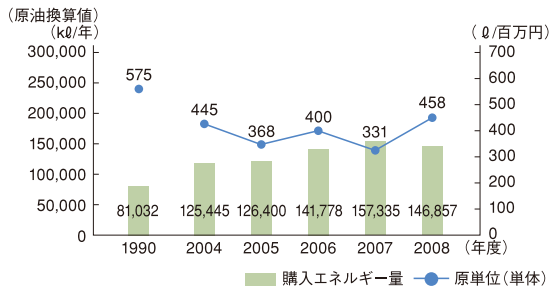
# 環境パフォーマンスデータ推移(単体)

日東電工では、CO<sub>2</sub>排出量、購入エネルギー量、産廃発生量、VOC大気排出量の4点を事業活動に伴い発生する主な環境負荷と捉え、これらの絶対量と生産効率を管理し改善対策などを立案・実行しております。

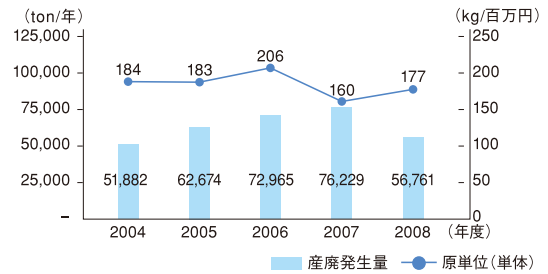
2008年度はこれら4項目すべてにおいて前年度より絶対量が削減されましたが、これは昨年暮れからの生産

量激減に起因し、環境保全対策の成果と言うことはできません。生産高原単位(生産量に対する効率)が悪化しているところから、生産量に依存しないクリーンルームの運転エネルギーや、断続的な生産ラインのライン稼働前後で発生するロスが多いことがわかりました。今後は、こういうロスの削減が課題です。

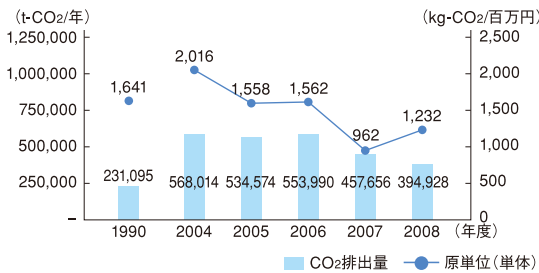
■ 購入エネルギー量・原単位推移(単体)



■ 産廃発生量・原単位推移(単体)



■ CO<sub>2</sub>排出量・原単位推移(単体)



■ VOC大気排出量推移(単体)

